



30年史 理事長あいさつ

公立大学法人富山県立大学 理事長 渋谷 克人

富山県立大学が、日本海側屈指の工業集積を背景に、平成2年に工学系大学として開学して以来、30年が経過いたしました。

この間、教育、研究、地域連携を積極的に推進して実績を上げ、就職に強い大学、研究力の高い大学として高い評価をいただいておりますし、本学で学んだ多くの卒業生が社会の担い手として各方面で活躍しております。

平成27年には公立大学法人となりましたが、この法人化を機に、県立の大学として、社会から求められる人材の育成と若者の定着に一層貢献していくため、中期6か年計画を立て、大規模な拡充を進めておりますが、今年度は、この計画の最終年度となります。

この間、工学部では医薬品工学科や知能ロボット工学科の設置など、社会のニーズに沿った学科の新設拡充を積極的に進め、入学定員も拡充してまいりましたし、昨年4月には看護学部を開設いたしまして、2学部体制の新しい富山県立大学がスタートしております。

さらに今年度も、工学部の電子・情報工学科を改組して電気電子工学科と情報システム工学科を新設拡充いたしましたので、本学の今年度の入学定員は、5年前の230名から460名と倍増しております。

こうした学部・学科の新設拡充と学生の増加に対応するため、本学では、教員を大幅に増員して教育研究体制の充実に努めておりますし、教育環境面におきましても、看護学部の新校舎等の整備を進めてまいりました。そしてこの春からは、建設を進めてまいりました9階建ての新校舎の供用を開始しております。

このように、開学以来、本学が発展を続けることができますのも、富山県、地元射水市、富山市、そして多くの皆様方のご支援とご尽力のおかげでありまして、深く感謝申し上げます。

本学としましては、引き続き、地方創生の一翼を担う魅力ある大学となりますように取り組んでまいりますので、皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。